令和元年度
第１回 南砺幸せなまちづくり創生総合戦略 推進委員会

令和元年９月２日（月）
１４：００～
南砺市福野庁舎２階 講堂

次　　第

１　開会

２　委嘱状の交付

３　市長あいさつ

４　委員の紹介

５　委員長及び副委員長の互選（あいさつ）

６　推進検証体制とスケジュール（資料１、２）

７　協議事項
・　内部組織による検証結果について（資料３）

８　報告事項
・　人口ビジョンの進捗状況について（資料４）

９　次回以降の推進委員会日程について

・第２回推進委員会　　１１月８日（金）　１４：００～

10　閉会

＜配布資料＞
資料１：内部検証と改善の流れ
資料２：総合戦略の検証及び進捗管理スケジュール（令和元年度）
資料３：南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見
（平成 30 年度事後評価）
資料４：南砺市人口ビジョンと人口動態

資料１

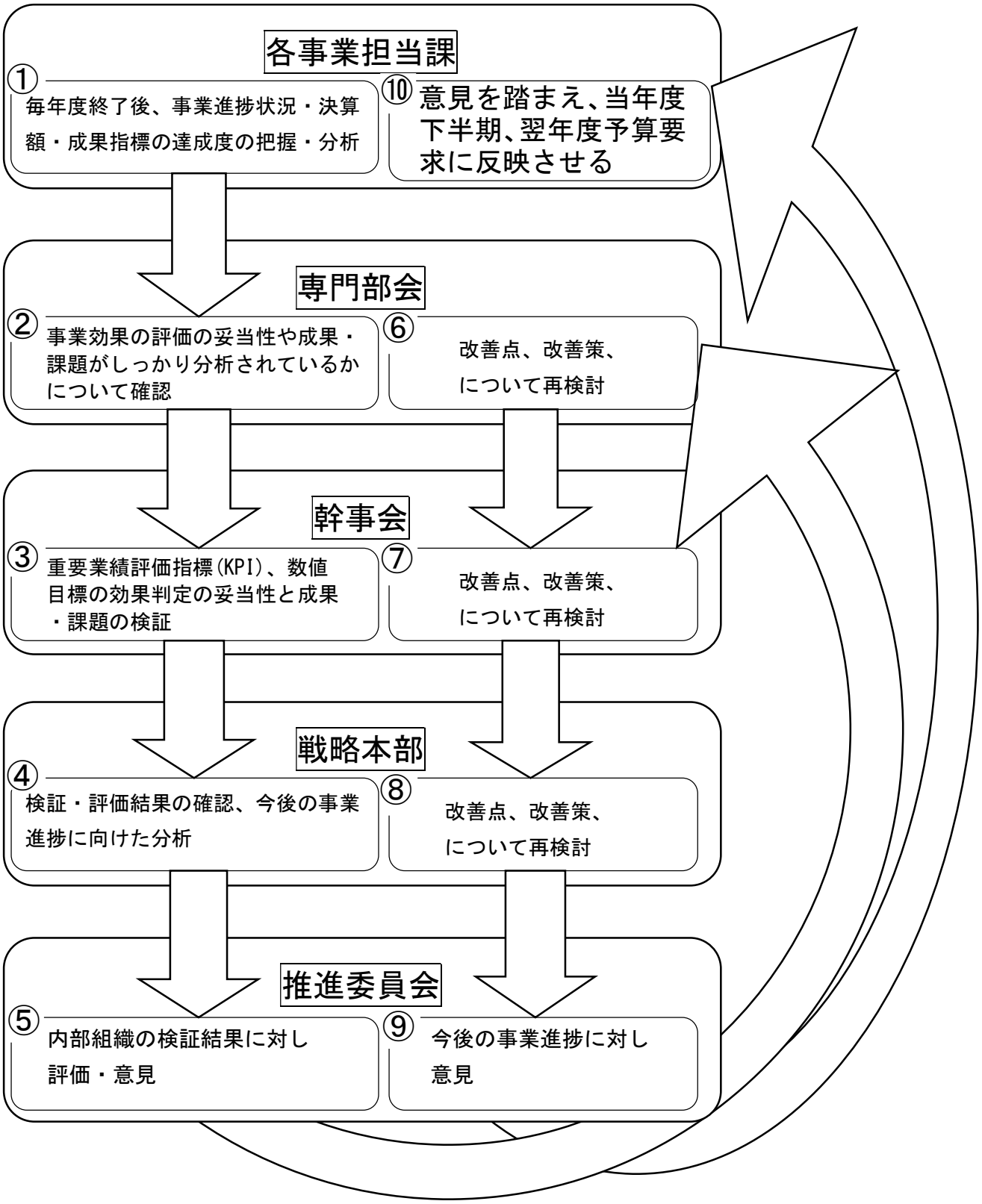
○内部検証と改善の流れ

毎年度終了後、内部組織である「南砺市まち･ひと･しごと創生総合戦略本部」で事業の進捗状況や目標値の達成度合いを評価し、今後の事業進捗に向けて分析をし、外部組織である推進委員会にその結果を提出する。

推進委員会では、内部組織の検証結果を基に進捗状況や達成度合いを検証し、今後の事業進捗やより高い成果へつなげることができるよう意見を付す。

その検証結果と委員会からの意見を市議会に提出し、市民へ広く公表するものとする。

市議からのご意見やご提案、市民からのご意見やご要望などに順次対応する。



総合戦略の検証及び進捗管理スケジュール（令和元年度）

資料２

平成31年 4 ／ 令和元年 5 6 7 8 9 10 11 12 ／ 令和2年 1 2 3 4

検証（平成30年度事業）

状況確認 → 分析・検証、改善策検討 → 状況把握 分析・検証 → 第2次総合計画に反映

- 4/23 総合戦略本部会議
- 総合戦略幹事会・専門部会
- 担当課作業
- 専門部会
- 幹事会
- 8/26 総合戦略本部会議
- 9/2 第１回総合戦略推進委員会
- 市議会への説明
- 総合戦略本部会議
- 検証結果の公表
- 幹事会
- 担当課作業
- 総合戦略本部会議
- 第２回総合戦略推進委員会
- 総合戦略本部会議
- 市議会への説明
- 専門部会

検証スケジュール確認

前年度の成果確認依頼

現状把握と分析・検証

分析・検証と改善策検討

検証結果とりまとめ

改善・対応方針の決定

戦略の成果検証

戦略全体の成果とりまとめ

進捗管理（平成31年度事業）

前年成果や状況により改善

評価・分析結果を反映

改善等検討内容を反映

- 総合戦略本部会議
- 課での確認
- 部での確認

目標等設定

取り組み等の見直

改善策反映

事業実施

進捗確認

事業の継続・廃止の検討

本年度の目標設定・改善策の検討指示

第１四半期の目標達成度合・事業実施状況・課題確認

上半期の状況及び課題確認・改善策検討・目標再設定

第３四半期の目標達成度合・事業実施状況・課題確認

成果検証・課題確認改善策検討

資料３

南砺幸せなまちづくり創生総合戦略

南砺市総合戦略推進委員会による
事業実施成果検証・評価・意見

（平成30年度事後評価）

南砺市まち・ひと・しごと創生総合戦略本部

南砺幸せなまちづくり創生総合戦略　体系表

数値目標	KPI	戦略事業
基本目標Ⅰ　心豊かな「結」と「土徳」のまち創造		
1－1 年間婚姻数（p.4）	1．婚活イベント年間参加者数（p.5）	1 あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト（AIP48） 2 婚活応援団なんとおせっ会プロジェクト
1－2 年間出生数（p.6）	2－1．産み育てやすい子育て環境であると答えた市民の割合（p.7）	3 産婦人科医の新規開業支援 4 妊娠・出産包括支援事業（南砺市型「ネウボラ」推進事業） 5 南砺の三人っ子政策 7 出生祝い金制度 8 こども医療費助成制度 9 保育料等軽減事業 10 認可外保育施設に通う子どもにかかる利用料（保育料等）支援事業 13 マイナンバーカード連携「なんとすこやか親子支援事業」 95 小児医療推進事業
	2－2．就労しながら無理なく子育てできると答えた市民の割合（p.8）	6 子育て応援制度 11 なんとで育児and育自（子育て交流サロン） 12 イクメン応援事業
1－3 健康寿命の延伸（p.9）	3．地縁組織等による介護事業所数（p.10）	15 介護予防・日常生活支援活動拠点施設改修及び備品等整備事業 16 介護人材育成タウンなんと
	4．がん検診受診率（p.11）	19「あなたのからだをナビゲート」事業
基本目標Ⅱ　多様な仕事を育む地域課題解決のまち創造		
2－1 若者、女性の就業率（p.12）	7．若者、女性の就業者数（p.13）	27 奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業 28 起業家育成支援事業 30 母子家庭等就業・自立支援事業 33 空き店舗対策支援事業 34 小規模事業者後継者支援事業（商店後継者支援事業） 35 地域おこし協力隊の地域への人材還流の推進 36 就活・雇用促進事業 96 空き家活用型しごとの場創出支援事業
2－2 新規起業(家)数（p.14）	9．新規雇用者数（p.15）	37 南砺市まちづくりファンド 39 企業立地奨励事業・小規模事業者応援制度
	10．クリエイター移住者数（p.16）	42 クリエイター育成マッチング事業
2－3 南砺市ブランド商品年間販売額（p.17）	11．南砺ブランド商品登録品目数（p.18）	45 南砺ブランド商品開発支援
	12-1．伝統的工芸職人数（p.19）	48 伝統的工芸品後継者育成支援事業 50 桜ヶ池合掌造り家屋「かず良」で養蚕・絹糸再生事業
	12-2．南砺ブランド商品（農産物）年間販売額（p.20）	61 6次産業化支援融資事業 64 新規就農支援事業の実施

※色は平成30年度実績の最終評価を表している
青…A「かなりの効果があった（8割以上）」及び
　　B「まずまずの効果があった（7割以上）」
黄…C「少しは効果があった（改善・進展）」
赤…D「まだ効果が出ていない又は判断できない」
　　E「効果が見込めない（悪化・停滞）」

数値目標	KPI	戦略事業
基本目標Ⅲ　南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造		
3－1 自治会町内会行事に参加している市民の割合（p.21）	13. コミュニティビジネス等に取り組む自治会等の数（p.22）	51 総合型自治振興会強化プラン 52 南砺市版 空き家再生等推進事業 79 なんと市民開催 まちづくり塾支援事業
3－2－1 地域資源の利活用（熱量）（p.23）	14. 木質ペレット利用量（p.25）	55 再生可能エネルギー推進事業 56 薪ステーション「木材利用でエコな生活を」
3－2－2 地域資源の利活用（地場産食材）（p.24）	15. 小中学校給食における地元産品使用率（p.26）	58 地場産農作物消費向上事業 60 農・福連携食材活用支援事業
	16. 間伐面積（p.27）	66 五箇山茅場の造成補助事業 67「森の学校」の創設
3－3 縮減公共施設の有効活用面積（p.28）	18. 譲渡募集に係る応募数（p.29）	70 公共施設再編後の施設を活用した企業誘致
基本目標Ⅳ　文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造		
4－1－1 年間転入者数（p.30）	19. 転入奨励金の年間交付件数（p.31）	72 移住定住者の保育料無料制度 73 定住促進雇用対策事業 75 ふるさと回帰転入助成事業 77 移住コンシェルジュ事業 78 定住支援事業 23 山村留学定住事業
4－1－2 年間転出者数（p.32）	20-1. 住み続けたいと思う市民の割合（p.33）	80 南砺版求人バンクで地域活性化（地域の困りごと解決） 81 なんとポイント事業 17 三世代同居奨励金及び推進住宅改修等助成事業 69 とやま呉西圏域連携事業の推進
	20-2. 南砺市に「誇り」や「愛着」を感じている市民の割合（p.34）	20 ふるさと教育推進事業 21 学校間をつなぐ遠隔協働学習
	20-3. 公共交通を使いやすいと感じている市民の割合（p.35）	24 なんバスで暮らそう事業 25 南砺金沢線バス運行事業 26 JR城端線駅舎Wi-Fi整備事業
4－2 貢献市民の人数（p.36）	21-1. 観光客入り込み数（p.37）	87 コンベンション支援事業 76 観光客誘致推進に向けた広域連携事業 92 TOGA国際芸術村を核としたクリエイティブビレッジ構想
	21-2. 観光客の満足度（p.38）	84 観光客受入環境整備事業 89 おもてなしFree Wi-Fi事業 97 なんチャリ事業
	22. ふるさと寄附をした人数（p.39）	90 貢献市民登録制度 91 ふるさと寄附金の推進及びふるさと産品の拡大 85 なんと！幸せのおすそわけキャンペーン
4－3 提携大学数（p.40）	24. 官学・官民連携の手法を活用した事業実施数（p.41）	93 官学、官民連携事業

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	南砺で暮らしません課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅰ　心豊かな「結」と「土徳」のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　若者の結婚活動を支援 ②　妊娠,出産,子育てに切れ目のない総合的な支援 ③　高齢者を地域全体で見守る体制づくりを支援 ④　平均寿命と健康寿命を延伸 ⑤　南砺を想う子どもを育む ⑥　暮らしやすさを実感できる地域の創造

イ　指標と達成率

数値目標 1-1	年間婚姻数	関連する施策区分	①
指標の説明、確認方法	一年間（４月～翌年３月）に南砺市に住民登録のある方の婚姻数（田市区町村届出分を含む）		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
267 (H28)	－	267	278	289	300	300	件	201	-200%	-300%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	11	11	11					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝(「対象年度の実績値」－「現状値（平成28年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成28年度）」) × 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｅ	

前年度よりも減少しておりＥ判定。
数値目標に繋がるＫＰＩである「婚活イベントの参加者数」は伸び悩んでいる。また、結婚の可能性が高い20代～30代の人口が男女とも減少してきていることも背景にあると考えられる。
（改善点）
20代より下の各年代の人口が少ないため、今後も20代～30代の人口減少が見込まれており、社会減を食い止めることが重要になる。
また、市外の人と結婚した人は、結婚を契機として市外に転出してしまうため、結婚後も市内に住み続けてもらう施策が必要である。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	南砺で暮らしません課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅰ-①　若者の結婚活動を支援
この施策の中で取り組む事業	1　あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト（AIP48） 2　婚活応援団なんとおせっ会プロジェクト

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　1	婚活イベント年間参加者数
指標の説明、確認方法	市及び民間団体が実施する婚活イベント等への年間参加者数（4月～翌年3月）

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
441	700	800	900	1,000	1,100	1,100	人	796	54%	64%
	（前年に対する変化目標）									
	259	100	100	100	100					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
C	

年度目標には届かないものの、総合戦略の開始時や前年度よりも増加しておりＣ判定。
25歳～39歳までの住基人口を平成26年と平成30年とで比較すると、約1,200人減っており、その影響が考えられる。
（改善点）
毎年、参加者数は増えてきているが、女性の参加者がなかなか集まらない。参加者アンケートも参考に、女性目線からみた参加してみたい婚活イベントの開催を工夫していく。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	こども課	関係課	健康課

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅰ　心豊かな「結」と「土徳」のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　若者の結婚活動を支援 ②　妊娠,出産,子育てに切れ目のない総合的な支援 ③　高齢者を地域全体で見守る体制づくりを支援 ④　平均寿命と健康寿命を延伸 ⑤　南砺を想う子どもを育む ⑥　暮らしやすさを実感できる地域の創造

イ　指標と達成率

数値目標 1-2	年間出生数	関連する施策区分	②
指標の説明、確認方法	年間出生数（４月～翌年３月） ※　出生の母数となる女性の数が年齢ピラミッドより減ることが確定しているため、目標数値も減少している。		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
305.0	332.0	330	328	326	324	324	人	289	-84%	-76%
	（前年に対する変化目標）									
	27	-2	-2	-2	-2					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｅ	

総合戦略の開始時よりも減少しておりＥ判定。
20代,30代の女性の人口を平成26年と平成30年で比べると約630人減っている一方、20代,30代の女性1,000人あたりの出生数は60人→66人と増えており、人口減の影響が大きいと考えられる。
（改善点）
19歳以下の人口から今後も20代,30代の人口は減ることが見込まれており、その世代の社会減を抑えることが重要になる。今後も出生数の減少は避けられず、その減少を緩やかにする施策を進める。（20代・30代が定着する・戻ってくる就業先・居住環境・経済的支援の充実等）
産む人、産みたい人には、各種施策の効果が発揮されている。産まない人、産むことができない人、結婚しない人につながる施策の充実が必要である。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	健康課	関係課	医療課、こども課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅰ-②　妊娠,出産,子育てに切れ目のない総合的な支援			
この施策の中で取り組む事業	3	産婦人科医の新規開業支援	9	保育料等軽減事業
	4	妊娠・出産包括支援事業（南砺市型「ネウボラ」推進事業）	10	認可外保育施設に通う子どもにかかる利用料（保育料等）支援事業
	5	南砺の三人っ子政策	13	マイナンバーカード連携「なんとすこやか親子支援事業」
	7	出生祝い金制度	95	小児医療推進事業
	8	こども医療費助成制度		

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　2-1	産み育てやすい子育て環境であると答えた市民の割合
指標の説明、確認方法	（市民意識調査）南砺市の市政への満足度を問う設問の中の産み育てやすい子育て環境づくりの項目について、「満足」「やや満足」「ふつう」と回答した人の合計を有効回答数で除した数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
80.6	80.0	81.0	82.0	83.0	84.0	84.0	%	**85.0**	129%	183%
	（前年に対する変化目標）									
	-0.6	1	1	1	1					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

最終年度目標を達成しておりＡ判定。
年代別にみると、60代前半で低いが、他の年代では全て目標の83.0を上回っている。最も高いのは10代、次いで20代となっている。
60代前半世代が産み育てやすい環境ではないと感じているところの改善を図りより一層の満足度の向上に努める。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	こども課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅰ-②　妊娠,出産,子育てに切れ目のない総合的な支援
この施策の中で取り組む事業	6　子育て応援制度 11　なんとで育児and育自（子育て交流サロン） 12　イクメン応援事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　2-2	就労しながら無理なく子育てできると答えた市民の割合
指標の説明、確認方法	（市民意識調査：18歳未満のお子さんがいる家庭）就労しながら無理なく子育てすることができると思うと回答した数／有効回答数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
58.5	60.0	62.5	65.0	67.5	70.0	70.0	%	62.6	36%	46%
	（前年に対する変化目標）									
	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
C	

年度目標には届かないものの、総合戦略の開始時や前年度よりも増加しておりＣ判定。
できると思わない理由別にみると、例年「小児医療体制が不十分であること」が最も挙げられていたが、今回は「子どもを遊ばせる場が少ないこと」が最も多くなっており、【戦略95】「小児医療推進事業」の効果があったと考えられる。
（改善点）
イクメン応援事業の実施や父親が家庭において家事や育児等に協力する意識の向上を図ることにより、就労しながら無理なく子育てができる環境を整えることで、さらに出産に踏み切る方の増加に繋げる。
子どもの急な体調不良時に男女問わず休暇が取れる企業の理解、社会意識の醸成、病児保育の実施が必要である。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	健康課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅰ　心豊かな「結」と「土徳」のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　若者の結婚活動を支援 ②　妊娠,出産,子育てに切れ目のない総合的な支援 ③　高齢者を地域全体で見守る体制づくりを支援 ④　平均寿命と健康寿命を延伸 ⑤　南砺を想う子どもを育む ⑥　暮らしやすさを実感できる地域の創造

イ　指標と達成率

数値目標 1-3	健康寿命の延伸	関連する施策区分	③④
指標の説明、確認方法	健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間であり、年齢階級別の人口、５年間の死亡数、６５歳以上の要介護認定者数等により算出する。 ※　検証は、毎年公表される簡易生命表、住基台帳人口等により毎年算定することとしたい。		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
男性 77.97歳 (H22)	78.53	78.64	78.75	78.86	78.97	男女とも1歳伸ばす	歳	79.55 (H29)	別途判定	別途判定
	（前年に対する変化目標）									
	－	0.11	0.11	0.11	0.11					
女性 82.97歳 (H22)	83.53	83.64	83.75	83.86	83.97	男女とも1歳伸ばす	歳	83.56 (H29)	別途判定	別途判定
	（前年に対する変化目標）									
	－	0.11	0.11	0.11	0.11					

※達成率の計算方法（一部、例外有り）：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
A	

平成28年度以降、男性は平成31目標値を達成している。
目標に到達していない女性についても、生活習慣病の発症・重症化予防の取組や健康意識の高揚により、目標の達成を目指す。
市の特定健診受診率・特定保健指導実施率は県下１位の高さであり、引き続き、特定健診、がん検診等の受診勧奨に努め、市民の健康づくりを推進していく。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地域包括ケア課	関係課	南砺で暮らしません課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅰ-③　高齢者を地域全体で見守る体制づくりを支援
この施策の中で取り組む事業	15　介護予防・日常生活支援活動拠点施設改修及び備品等整備事業 16　介護人材育成タウンなんと

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　3	地縁組織による介護事業所数
指標の説明、確認方法	地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）のうち、多様なサービスのAとB及び一般介護予防事業の地域介護予防活動支援事業の週１回以上のサロンを実施する地縁組織等の事業所数の合計

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
0	0	3	14	22	31	31	事業所	24	77%	109%
	（前年に対する変化目標）									
	－	3	11	8	9					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を達成しておりＡ判定。
週一サロンが増加し、地域の介護予防に対する意識が向上した。次年度はサービスＢも増加の見込み。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	健康課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅰ-④　平均寿命と健康寿命を延伸
この施策の中で取り組む事業	19　「あなたのからだをナビゲート」事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　4	がん検診受診率
指標の説明、確認方法	以下の理由から、がん検診のうち、「肺がん検診受診率」を指標とする。 ①対象者が他のがん検診よりも多い、②10年生存確率がん検診の中で最も低い、③市の受動喫煙防止対策の取組と関連する ※なお、今後対象者の高齢化が進むことによる未受診者の増加が想定されるため、目標値を南砺市民健康プランで設定している50%を確保することとしたい。

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
53.0	－	－	50.0	50.0	50.0	50.0	%	51.6	103%	103%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	-3	0	0					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を達成しておりＡ判定。
対象者の高齢化が進むことによる未受診者の増加が想定される中で、前年度から0.1%の低下に抑えることができた。肺がん検診は、胸部レントゲン検査やヘリカルＣＴ検査による短時間で苦痛のない検査方法を用いており、他のがん検診と比較しても受診しやすいことや、感染症予防としての検診であることを周知し、引き続き受診率50%以上を確保していく。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	地方創生推進課

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅱ　多様な仕事を育む地域課題解決のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　起業･コミュニティービジネス支援と就業支援 ②　企業誘致の推進と新たなビジネスを支える地域創生ファンドの組成 ③　南砺版エコノミックガーデニングの構築 ④　クリエイターの集積による新たな魅力の創造 ⑤　五箇山＆南砺ブランド商品の開発と販売促進 ⑥　職人育成と伝統工芸の維持

イ　指標と達成率

数値目標 2-1	若者、女性の就業率	関連する施策区分	①②
指標の説明、確認方法	23歳以上の若者（35歳以下）と64歳以下の女性のうち、給与・農業・事業所得がある人数から給与収入額が103万円以下の人数を除き、当該対象の総数で除した割合		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
73.6 (H27)	－	－	74.0	74.5	75.0	75.5	%	75.8	116%	244%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	－	0.5	0.5					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝(「対象年度の実績値」－「現状値（平成27年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成27年度）」) × 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

最終年度目標を達成しておりＡ判定。
男性では86.4%、女性では73.1%であった。なお、女性を年齢別にみると、最も低いのが60-64の55.9%、次いで低いのが30代の70.1%となった。
景気の後押しや有効求人倍率の高水準の推移などの要因もあるが、引き続き企業紹介・就活支援ＨＰ「なんとジョブ」等を活用して、各企業の特色などを発信し、就業率の増加につなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	地方創生推進課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅱ-①　起業･コミュニティービジネス支援と就業支援	
この施策の中で取り組む事業	27　奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業 28　起業家育成支援事業 30　母子家庭等就業･自立支援事業 33　空き店舗対策支援事業 34　小規模事業者後継者支援事業（商店後継者支援事業）	35　地域おこし協力隊の地域への人材還流の推進 36　就活･雇用促進事業 96　空き家活用型しごとの場創出支援事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　7	若者、女性の就業者数
指標の説明、確認方法	23歳以上の若者（35歳以下）と64歳以下の女性のうち、給与・農業・事業所得がある人数から給与収入額が103万円以下の人数を除いた人数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
10,641 (H27)	－	－	10,435	10,249	10,083	10,083	人	10,319	102%	101%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	－	−186	−166					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を達成しておりＡ判定。
男性では2,337人で前年から61人の減、女性では7,982人と55人の減となったが、人口減少率よりも低く抑えられている。
景気の後押しや有効求人倍率の高水準の推移などの要因もあるが、関係団体と連携し雇用事業のＰＲに努め、就業率の増加につなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅱ　多様な仕事を育む地域課題解決のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　起業･コミュニティービジネス支援と就業支援 ②　企業誘致の推進と新たなビジネスを支える地域創生ファンドの組成 ③　南砺版エコノミックガーデニングの構築 ④　クリエイターの集積による新たな魅力の創造 ⑤　五箇山＆南砺ブランド商品の開発と販売促進 ⑥　職人育成と伝統工芸の維持

イ　指標と達成率

数値目標 2-2	新規起業(家)数	関連する施策区分	③④
指標の説明、確認方法	これまでに、起業家育成支援事業、空き店舗対策支援事業及び小規模事業者後継者支援事業の補助制度を活用し、起業又は事業継承された事業所数、および、それ以外にH27年度以降に商工会に新規で加入された数の合計		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
15	32	49	66	83	100	100	件	125	129%	162%
	（前年に対する変化目標）									
	17	17	17	17	17					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝(「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」) × 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

最終年度目標を達成しておりＡ判定。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	企業誘致推進室	関係課	商工課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅱ-③　南砺版エコノミックガーデニングの構築
この施策の中で取り組む事業	37　南砺市まちづくりファンド 39　企業立地奨励事業小規模事業者応援制度

イ　指標と達成率

ＫＰＩ　9	新規雇用者数
指標の説明、確認方法	企業立地助成金事業のうち「雇用創出事業」の対象である市内に住所を有する新規雇用従業員数の合計（H26からの累計）

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
3	22	42	61	81	100	100	人	44	42%	53%
	（前年に対する変化目標）									
	19	20	19	20	19					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
C	

前年度より増加したものの、年度目標には届かずＣ判定。
有効求人倍率が高い水準で推移しており、企業の人材確保が困難となっている。
【改善点】
企業紹介・就活支援ＨＰ「なんとジョブ」を活用し、更なる掲載企業数の増に努めるほか、新卒者や移住希望者向けの情報発信を行うことで企業の人材確保につなげたい。また、関係団体と連携し雇用事業のＰＲに努め、就業率の増加につなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	地方創生推進課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅱ-④　クリエイターの集積による新たな魅力の創造
この施策の中で取り組む事業	42　クリエイター育成マッチング事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 10	クリエイター移住者数
指標の説明、確認方法	市内のクリエイティブ産業関係事業所に聴取した市内に転入された従業員数の合計

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
0	20	40	60	80	100	100	人	59	59%	74%
	（前年に対する変化目標）									
	20	20	20	20	20					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｂ	

クリエイタープラザの入居率は上昇しているが、市外のクリエイターも入居していることから、移住者としては年度目標の７割強の達成としてＢ判定とした。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	農林課

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅱ　多様な仕事を育む地域課題解決のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　起業･コミュニティービジネス支援と就業支援 ②　企業誘致の推進と新たなビジネスを支える地域創生ファンドの組成 ③　南砺版エコノミックガーデニングの構築 ④　クリエイターの集積による新たな魅力の創造 ⑤　五箇山＆南砺ブランド商品の開発と販売促進 ⑥　職人育成と伝統工芸の維持

イ　指標と達成率

数値目標 2-3	南砺市ブランド商品年間販売額	関連する施策区分	⑤⑥
指標の説明、確認方法	農産品：市内産物直売所・農産加工品販売額（砺波農林振興センター「普及指導計画書より）及びその他の主な農産加工品販売額（市農林課調査）を合計したもの、商工：自治体特選ストア販売額及び伝統的工芸品販売額（市商工課より井波彫刻及び五箇山和紙の組合へ聴取）の合計額		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
18.2	18.6	18.9	19.3	19.6	20.0	20.0	億円	17.1	-61%	-79%
	（前年に対する変化目標）									
	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

総合戦略の開始時よりも減少しておりＤ判定。
後継者の不足・不在などにより生産者の減少が著しく生産量が減少傾向にある。さらに生育不良による収穫量の減少や新たな「南砺ブランド」のECサイトの立ち上げが準備中であることから販売額に影響が出た。
【戦略45】による商品の磨きあげや販路拡大に取り組むことで販売額の向上を図る。また、新規就農者増加に取り組む。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	地方創生推進課、農林課、企業誘致推進室

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅱ-⑤　五箇山＆南砺ブランド商品の開発と販売促進
この施策の中で取り組む事業	45　南砺ブランド商品開発支援

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 11	南砺ブランド商品登録品目数
指標の説明、確認方法	なんと幸せのおすそわけに登録されている総品目数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
－	－	－	－	－	－	－	品目	91	別途判定	別途判定
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	－	－	－					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝(「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」) × 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

新しい「南砺ブランド」を立ち上げ日が浅い事から、効果がまだ出ていないためＤ判定。
ブランド商品の登録品目数は数を絞り、より厳選した南砺ブランドとして推すに相応しい上位の品のみ認定をする審査を実施し、なんと幸せのおすそわけの品として９１品目を認定した。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	商工課	関係課	地方創生推進課、エコビレッジ推進課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅱ-⑥　職人育成と伝統工芸の維持
この施策の中で取り組む事業	48　伝統的工芸品後継者育成支援事業 50　桜ヶ池合掌造り家屋「かず良」で養蚕・絹糸再生事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 12-1	伝統的工芸職人数
指標の説明、確認方法	井波彫刻協同組合及び五箇山和紙の組合に聴取した組合員及び和紙従業者数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
137	137	137	137	137	137	137	人	135	別途判定	別途判定
	（前年に対する変化目標）									
	0	0	0	0	0					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｂ	

総合戦略の開始時より減少したものの、前年度より増加しておりＢ判定。
引き続き、【戦略48】「伝統的工芸品産業再生支援事業」に取り組んでいく。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	農林課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅱ-⑥　職人育成と伝統工芸の維持
この施策の中で取り組む事業	61　6次産業化支援融資事業 64　新規就農支援事業の実施

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 12-2	南砺ブランド商品（農産物）年間販売額
指標の説明、確認方法	市内産物直売所・農産加工品販売額（砺波農林振興センター「普及指導計画書より）及びその他の主な農産加工品販売額（市農林課調査）を合計したもの

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
11.4	11.7	12.0	12.3	12.6	13.0	13.0	億円	**10.6**	-50%	-67%
	（前年に対する変化目標）									
	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

総合戦略の開始時よりも減少しておりＤ判定。
後継者の不足・不在などにより生産者の減少が著しく生産量が減少傾向にある。さらに生育不良により収穫量が減少し販売額に影響が出た。
（改善点）
近年、新規就農者が増加傾向にあり明るい兆しが見えてきた。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	南砺で暮らしません課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅲ　南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　コミュニティビジネスの支援と笑顔あふれる豊かな地域の創造 ②　木質バイオマスエネルギー等の活用 ③　地産地消推進による食の自給率向上 ④　南砺の農林水産業の維持と新たな挑戦 ⑤　森里川海のつながりでいのち湧く地域の形成 ⑥　公共施設再編計画の実現

イ　指標と達成率

数値目標 3-1	自治会町内会行事に参加している市民の割合	関連する施策区分	①
指標の説明、確認方法	（市民意識調査）過去１年間に自治会町内会行事に参加したことがあると回答した数／有効回答数		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
78.2	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	%	75.6	-144%	-144%
	（前年に対する変化目標）									
	1.8	0	0	0	0					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｅ	

総合戦略の開始時よりも減少しておりＥ判定。
年代別にみると、20代が最も低く、年齢が上がる毎に高くなる。目標の80%を越えているのは50代からで、30代、40代では目標に達していない。
数値目標に繋がるＫＰＩ「コミュニティビジネス等に取り組む自治会等の数」をみると、まだ効果が出ていないことから、まずは数値目標に繋がるＫＰＩの向上に取り組む必要がある。
（改善点）
自治振興会単位で推進している小規模多機能自治の推進において、若者や女性の参加を積極的に行える組織のあり方等について検討して頂いており、自治会町内会においても、その展開により積極的に参加する若者の割合が増えることにつなげたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	南砺で暮らしません課	関係課	地域包括ケア課、交流観光まちづくり課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅲ-①　コミュニティビジネスの支援と笑顔あふれる豊かな地域の創造
この施策の中で取り組む事業	51　総合型自治振興会強化プラン 52　南砺市版 空き家再生等推進事業 79　なんと市民開催 まちづくり塾支援事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 13	コミュニティビジネス等に取り組む自治会等の数
指標の説明、確認方法	地域課題解決に住民協働で取り組む「介護予防・日常生活支援総合事業」や「総合型自治振興会」、「空き家再生等推進事業」といった地域活動やコミュニティビジネスを実践する自治振興会、自治会、団体の合計数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
0	0	10	20	30	40	40	団体	7	18%	23%
	（前年に対する変化目標）									
	－	10	10	10	10					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

【戦略51】「総合型自治振興会強化プラン」で取り組んできた小規模多機能自治が平成31年４月に始まったばかりであり、効果がまだ出ていないためＤ判定。
４月に設立された「なんと未来支援センター」とも連携し、コミュニティビジネス等を支援していく。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	エコビレッジ推進課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅲ　南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　コミュニティビジネスの支援と笑顔あふれる豊かな地域の創造 ②　木質バイオマスエネルギー等の活用 ③　地産地消推進による食の自給率向上 ④　南砺の農林水産業の維持と新たな挑戦 ⑤　森里川海のつながりでいのち湧く地域の形成 ⑥　公共施設再編計画の実現

イ　指標と達成率

数値目標 3-2-1	地域資源の利活用（熱量）	関連する施策区分	②④⑤
指標の説明、確認方法	ペレットストーブ設置補助金により設置された台数に対し、ストーブ１台当たり１ｔ（17GJ）の熱消費量を乗じて算出した熱量の合計		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
595	816	1,037	1,258	1,479	1,700	1,700	GJ	**1,513**	83%	104%
	（前年に対する変化目標）									
	221	221	221	221	221					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝(「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」) × 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を達成しておりＡ判定。
助成制度開始より累計118台と制度の周知により設置台数は順調に増加している。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	農林課	関係課	エコビレッジ推進課

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅲ　南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　コミュニティビジネスの支援と笑顔あふれる豊かな地域の創造 ②　木質バイオマスエネルギー等の活用 ③　地産地消推進による食の自給率向上 ④　南砺の農林水産業の維持と新たな挑戦 ⑤　森里川海のつながりでいのち湧く地域の形成 ⑥　公共施設再編計画の実現

イ　指標と達成率

数値目標 3-2-2	地域資源の利活用（地場産食材）	関連する施策区分	③④
指標の説明、確認方法	（市民意識調査）地場産食材を意識して購入している市民の割合		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
37.4	－	－	40.0	40.0	40.0	40.0	%	32.9	-173%	-173%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	2.6	0	0					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｅ	

総合戦略の開始時よりも減少しておりＥ判定。
男女別にみると、女性では44.3%と目標を上回ったが、男性では19.3%であった。
数値目標に繋がるＫＰＩ「小中学校における地元産品使用率」は年度目標に届いておらず、ＫＰＩの向上に努めると共に、家庭や地域への波及を目指す。
（改善点）
地場産品を販売している農産物直売所の販売体制について見直しを行うなど、市民が地場産品を購入しやすい場所やしくみづくりを働きかけていく。また、地場産食材を扱う飲食店が増えることで、意識の向上に繋がることが期待される。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	エコビレッジ推進課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅲ-②　木質バイオマスエネルギー等の活用
この施策の中で取り組む事業	55　再生可能エネルギー推進事業 56　薪ステーション「木材利用でエコな生活を」

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 14	木質ペレット利用量
指標の説明、確認方法	南砺市の公共施設における１年間のペレット利用量

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
80	188	296	404	1,600	1,699	1,699	t	1,255	73%	77%
	（前年に対する変化目標）									
	108	108	108	1196	99					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ｂ	

年度目標の８割弱を達成しておりＢ判定。
公共施設への木質ペレットボイラー導入により消費量は増加しており、更にボイラー稼働状況の円滑化や運用作業の効率化により消費量の増加が見込まれる。
原料木材の地域内調達比率は現状、約３割であり、今後は市内製材業等事業者との連携を進め、比率向上を目指す。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	農林課	関係課	教育総務課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅲ-③　地産地消推進による食の自給率向上
この施策の中で取り組む事業	58　地場産農作物消費向上事業 60　農・福連携食材活用支援事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 15	小中学校給食における地元産品使用率
指標の説明、確認方法	富山県農産食品課調査「元気とふれあい学校給食づくり事業」への報告値（4月～翌年3月）

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
29.5	30.0	31.3	32.5	33.8	35.0	35.0	%	30.5	18%	23%
	（前年に対する変化目標）									
	0.5	1.3	1.2	1.3	1.2					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
C	

総合戦略の開始時よりも増加しているものの、年度目標には届かずＣ判定。前年度からみるとほぼ横ばい。
野菜の生育状況と納入のタイミングが合わない事があり伸びなかった。
（改善点）
学校側の需要と、生産者側の供給のタイミングを合せることにより増加に努めていきたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	農林課	関係課	エコビレッジ推進課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅲ-④　南砺の農林水産業の維持と新たな挑戦
この施策の中で取り組む事業	66　五箇山茅場の造成補助事業 67　「森の学校」の創設

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 16	間伐面積
指標の説明、確認方法	森林組合の単年度の間伐実施面積

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
213	213	223	233	246	260	260	ha	106	-228%	-324%
	（前年に対する変化目標）									
	0	10	10	13	14					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
D	

富山県西部森林組合管内（南砺市、砺波市、小矢部市、高岡市、氷見市、射水市）では計画的に増加しているものの、H30年度においては南砺市の間伐実施面積が減ったためＤ判定。
市の施業面積は年度毎に変動するが、事業体の活動範囲は広域であるため広域でも評価していきたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	行革･施設管理課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅲ　南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　コミュニティビジネスの支援と笑顔あふれる豊かな地域の創造 ②　木質バイオマスエネルギー等の活用 ③　地産地消推進による食の自給率向上 ④　南砺の農林水産業の維持と新たな挑戦 ⑤　森里川海のつながりでいのち湧く地域の形成 ⑥　公共施設再編計画の実現

イ　指標と達成率

数値目標 3-3	縮減公共施設の有効活用面積	関連する施策区分	⑥
指標の説明、確認方法	公共施設等総合管理計画に基づき譲渡した公共施設のうち、民間活用された施設面積の合計		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
0	0	3,000	15,000	27,000	39,000	39,000	㎡	3,977	10%	15%
	（前年に対する変化目標）									
	－	3000	12000	12000	12000					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝(「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」) × 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
C	

前年度より増加したものの、年度目標には届かずＣ判定。
民間ニーズの把握に努め、応札の可能性が高い物件を中心に絞り込んだため微増。
数値目標に繋がるＫＰＩ「譲渡募集に係る応募数」も年度目標には届いておらず、まずはＫＰＩの年度目標達成を目指す。
（改善点）
公共施設再編推進施策を制度化したことにより、昨年の３施設から６施設に件数は拡大している。譲渡先については、企業よりも個人からの問い合わせが増えつつあり、施設や敷地の規模もコンパクトな物件が好まれる傾向にある。よって、必要に応じて土地を分筆するなど購買意欲を削がないよう確実な譲渡を目指していく。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	行革･施設管理課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅲ-⑥　公共施設再編計画の実現
この施策の中で取り組む事業	70　公共施設再編後の施設を活用した企業誘致

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 18	譲渡募集に係る応募数
指標の説明、確認方法	民間でも活用可能な施設を対象に、公募・利活用提案を募集し、応募された者の数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
0	－	－	25	50	75	75	件	11	15%	22%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	25	25	25					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝(「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」) × 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
C	

前年度より増加したものの、年度目標には届かずＣ判定。
物件価格が市場価格よりも高く感じられることが要因と考えられる。
より適正な価格算定方法の検討と多くの方に応募いただくための条件設定について検討が必要と思われる。
（改善点）
公共施設再編推進施策を制度化し、応募しやすい環境が整い、応募者数も伸びたものの、１施設に対する応募者は単独の状態である。このことから、市内から全国へと募集範囲を拡大する際、複数の物件の募集について一括して広告するなど、効果的な周知方法を検討する。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	南砺で暮らしません課	関係課	地方創生推進課

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅳ　文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　移住定住施策の推進 ②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援 ③　交流観光の推進 ④　貢献市民の拡大 ⑤　「文化芸術創造都市」としての魅力をさらに高める ⑥　高校, 高専, 大学, 大学院, 民間企業などとの連携の拡充

イ　指標と達成率

数値目標 4-1-1	年間転入者数	関連する施策区分	①②
指標の説明、確認方法	年間転入者数（4月～翌年3月）		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
1,012	1,022	1,031	1,041	1,050	1,060	1,060	人	**1,048**	75%	95%
	（前年に対する変化目標）									
	10	9	10	9	10					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標をほぼ達成しておりＡ判定。
数値目標に繋がるＫＰＩも好調であり、昨年度は落ち込んだものの、転入の促進に向けた取組には一定の効果が出ていると考えられる。
特に例年数の多い２０～３４歳の転入者数が３５名の増加となっており、増加数全体の５割以上を占めている。また、０～９歳の転入者数も１１名の増加となっていることから、子連れの若い世代の転入が増加傾向に変化してきている可能性がある。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	南砺で暮らしません課	関係課	こども課、交流観光まちづくり課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-①　移住定住施策の推進
この施策の中で取り組む事業	72　移住定住者の保育料無料制度 73　定住促進雇用対策事業 75　ふるさと回帰転入助成事業 77　移住コンシェルジュ事業 78　定住支援事業 23　山村留学定住事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 19	転入奨励金の年間交付件数
指標の説明、確認方法	定住奨励金制度「南砺で住んでみんまいけ事業」の内の、転入奨励金の補助件数（4月～翌年3月）

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
20	22	24	26	28	30	30	件	31	110%	138%
	（前年に対する変化目標）									
	2	2	2	2	2					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を達成しておりＡ判定。
制度は周知されてきつつあり、一定の実績値で推移している。今後は移住希望者のほか、南砺市民に向けても周知し、Ｕターン等のきっかけとなるよう働きかけを行う。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	南砺で暮らしません課

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅳ　文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　移住定住施策の推進 ②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援 ③　交流観光の推進 ④　貢献市民の拡大 ⑤　「文化芸術創造都市」としての魅力をさらに高める ⑥　高校, 高専, 大学, 大学院, 民間企業などとの連携の拡充

イ　指標と達成率

数値目標 4-1-2	年間転出者数	関連する施策区分	①②
指標の説明、確認方法	年間転出者数（4月～翌年3月）		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
1,242	1,234	1,225	1,217	1,208	1,200	1,200	人	**1,184**	138%	171%
	（前年に対する変化目標）									
	−8	−9	−8	−9	−8					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を達成しておりＡ判定。
特に例年数の多い２０～２９歳の転出者数が４８名の減少となっており、減少数全体の５割以上を占めている。また、０～９歳の転出者数も３５名の減少となっていることから、子連れの若い世代の転出者数に歯止めがかかってきている可能性がある。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	南砺で暮らしません課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援
この施策の中で取り組む事業	80　南砺版求人バンクで地域活性化（地域の困りごと解決） 81　なんとポイント事業 17　三世代同居奨励金及び推進住宅改修等助成事業 69　とやま呉西圏域連携事業の推進

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 20-1	住み続けたいと思う市民の割合
指標の説明、確認方法	（市民意識調査）今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思うと回答した数／有効回答数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
72.3	74	75	76.9	78.5	80.0	80.0	%	70.3	-26%	-32%
	（前年に対する変化目標）									
	1.5	1.6	1.5	1.6	1.5					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
E	

総合戦略の開始時よりも減少しておりＥ判定。
年代別にみると、20代が最も低く、年齢が上がる毎に高くなっている。
また、引っ越したい理由を見ると「買い物など日常生活」や「公共交通」の不便さが多く挙げられており、逆に「教育環境」や「子育て環境」は少ない。
（改善点）
この指標は、総合的な指標であり、「買い物などの日常生活」や「公共交通」を改善することや、将来の姿をイメージすることにより、南砺市に住みたいと考える若い世代を増やす取組みが必要と考えている。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	教育総務課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援
この施策の中で取り組む事業	20　ふるさと教育推進事業 21　学校間をつなぐ遠隔協働学習

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 20-2	南砺市に「誇り」や「愛着」を感じている市民の割合
指標の説明、確認方法	（市民意識調査）南砺市への「誇り」や「愛着」を感じていると回答した数／有効回答数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
68.1	－	－	70.0	70.5	71.0	71.0	%	67.2	-31%	-37%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	0.7	0.5	0.5					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
E	

総合戦略の開始時よりも減少しておりＥ判定。
年代別にみると、30代、60代で低く、昨年度と似た傾向となっている。なお目標の70.5%を越えたのは70歳以上のみであった。
（改善点）
この指標は、総合的な指標であることから、ふるさと教育等、様々な取組みの成果により目標が達成するものと考えている。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援
この施策の中で取り組む事業	24　なんバスで暮らそう事業 25　南砺金沢線バス運行事業 26　ＪＲ城端線駅舎Wi-Fi整備事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 20-3	公共交通を使いやすいと感じている市民の割合
指標の説明、確認方法	（市民意識調査）JR城端線、民営バス、市営バス、タクシーを使いやすいと感じると回答した数／回答数から無回答を除いた数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
35.2	－	－	38.0	39.0	40.0	40.0	%	33.1	-44%	-55%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	2.1	1	1					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
E	

総合戦略の開始時よりも減少しておりＥ判定。
交通機関別にみると「タクシー」が最も高く20.5%、次いで「JR城端線」19.1%、「市営バス」8.8%、「民営バス」7.8%の順であった。なお、JR城端線では４割弱、その他では６割前後の方が「わからない」と回答している。
また「よく使うか？」との質問には、最も多いJR城端線でも6.8%、市営バスでは1.4%しか「よく使う」の回答がなく、あまり使わないので使いやすさもわからない状況、と考えられる。
（改善点）
平成30年度に、富山大学都市デザイン学部との共同研究で公共交通網形成計画を策定しており、その計画に沿ってより使いやすい公共交通を目指す。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅳ　文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　移住定住施策の推進 ②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援 ③　交流観光の推進 ④　貢献市民の拡大 ⑤　「文化芸術創造都市」としての魅力をさらに高める ⑥　高校, 高専, 大学, 大学院, 民間企業などとの連携の拡充

イ　指標と達成率

数値目標 4-2	貢献市民の人数	関連する施策区分	③④⑤
指標の説明、確認方法	市外に住みながらも、南砺市を心に想い、集い、実践される方。第２住民登録をされた人数の合計		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
0	0	300	500	650	800	800	人	601	75%	92%
	（前年に対する変化目標）									
	－	300	200	150	150					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標をほぼ達成しておりＡ判定。
貢献市民と同様の考え方である「関係人口」という概念が、国全体で浸透してきており、登録者数は高い数値で維持できている。
平成30年度に国のモデル事業に取り組んだ成果により、次年度から地域課題と貢献市民のマッチングも進むことが見込まれており、一層の登録者数の増加が見込まれる。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	交流観光まちづくり課	関係課	エコビレッジ推進課、商工課、地方創生推進課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-③　交流観光の推進
この施策の中で取り組む事業	87　コンベンション支援事業 76　観光客誘致推進に向けた広域連携事業 92　TOGA国際芸術村を核としたクリエイティブビレッジ構想

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 21-1	観光客入り込み数
指標の説明、確認方法	市の調査として観光協会支部単位ごとに調査している観光客入り込み数の合計

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
325.6	－	－	351.0	360.0	370.0	370.0	万人	354.1	64%	83%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	25.4	9	10					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標の８割強を達成しておりＡ判定。
旅行商談会（ビジットジャパン・トラベルマート）でのプロモーションやインバウンドセミナーの開催等により、外国人宿泊数が増加しつつあり、インバウンド対策の取組の成果が表れつつある。
今後は、広域連携による効果的な事業展開等により、国内外のお客様に市内へ訪れてもらえるよう魅力あるＰＲ事業等を実施する。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	交流観光まちづくり課	関係課	

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-③　交流観光の推進
この施策の中で取り組む事業	84　観光客受入環境整備事業 89　おもてなしFree Wi-Fi事業 97　なんチャリ事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 21-2	観光客の満足度
指標の説明、確認方法	市観光客動態調査により、各指標を設定し、南砺市に対する満足度を算出

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
86.0	－	－	87.0	88.0	89.0	89.0	%	86.0	0%	0%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	1	1	1					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝(「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」) × 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標には届かなかったが、８６％の高評価を維持しているためＡ判定。
引き続き公共交通利便性の充実や情報発信の強化により評価を高めたい。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	税務課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-④　貢献市民の拡大
この施策の中で取り組む事業	90　貢献市民登録制度 91　ふるさと寄附金の推進及びふるさと産品の拡大 85　なんと！幸せのおすそわけキャンペーン

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 22	ふるさと寄附をした人数
指標の説明、確認方法	ふるさと寄附をした人数

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
65	－	－	500	500	650	650	人	1,192	193%	259%
	（前年に対する変化目標）									
	－	－	435	0	150					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

年度目標を大幅に達成しておりＡ判定。
寄附金額に対するポイント制の導入や寄附者１人に対し１会計年度１度の贈呈を年度内複数回返礼品の贈呈を行うなどの寄附者にメリットのある要綱改正を行ったことと、返礼品目数の増加により寄附金額、寄附者数共に増加した。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	

ア　体系区分

基本目標	基本目標Ⅳ　文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造
この基本目標に対応する具体的施策（施策区分）	①　移住定住施策の推進 ②　市民がつながり、交流する仕組みづくりの支援 ③　交流観光の推進 ④　貢献市民の拡大 ⑤　「文化芸術創造都市」としての魅力をさらに高める ⑥　高校, 高専, 大学, 大学院, 民間企業などとの連携の拡充

イ　指標と達成率

数値目標 4-3	提携大学数	関連する施策区分	⑥
指標の説明、確認方法	南砺市と官学連携事業を共同で実施する提携を結んだ大学数の合計		

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
	2	3	4	5	6					
1	（前年に対する変化目標）					6	大学	6	100%	125%
	1	1	1	1	1					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

最終年度目標を達成しておりＡ判定。
数値目標に繋がるＫＰＩ「官学・官民連携の手法を活用した事業実施数」も目標を達成しており、「大学等の知見と人材を活かして地域の課題解決を図ること」が少しずつ浸透していると考えられる。今後もＫＰＩの向上を通じ、モデルとなる事業の横展開を図る。

エ　外部評価

各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない
	各委員の意見

オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

平成　30　年度事業の南砺市総合戦略推進委員会による事業実施成果検証・評価・意見

主管課	地方創生推進課	関係課	南砺で暮らしません課

ア　体系区分

施策区分	施策Ⅳ-⑥　高校, 高専, 大学, 大学院, 民間企業などとの連携の拡充
この施策の中で取り組む事業	93　官学、官民連携事業

イ　指標と達成率

ＫＰＩ 24	官学・官民連携の手法を活用した事業実施数
指標の説明、確認方法	南砺市が官学連携、官民連携の手法を活用して実施した事業数の合計

現状値（Ｈ２６年度）	年度時点の目標数値					５年間の目標値	単位	H30年度実績値	５年間の目標値に対する達成率(%)	年度時点の目標数値に対する達成率(%)
	Ｈ２７年度	Ｈ２８年度	Ｈ２９年度	Ｈ３０年度	Ｈ３１年度					
2	3	4	6	8	10	10	件	12	125%	167%
	（前年に対する変化目標）									
	1	1	2	2	2					

※達成率の計算方法：「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」に対する達成率
＝（「対象年度の実績値」－「現状値（平成26年度）」／「５年間の目標値」または「年度時点の目標数値」－「現状値（平成26年度）」）× 100

ウ　内部評価

年度時点の達成率に対する事業効果	総合戦略に　Ａ：かなりの効果があった（８割以上） Ｂ：まずまずの効果があった（７割程度） Ｃ：少しは効果があった（改善・進展） Ｄ：まだ効果が出ていない　（現段階ではまだ判断できない・未実施含む） Ｅ：効果が見込めない（悪化・停滞）
Ａ	

最終年度目標を達成しておりＡ判定。
大学別にみると、富山大学３、富山県立大学２、富山国際大学・富山短期大学３、金沢大学３、東京大学生産技術研究所１であった。
特に【戦略94】「金沢大学セミナーハウス整備事業」との関係を活かし、平地域で小規模多機能に向けた検討に金沢大学が協力した取組など、地域からも少しずつ動きが出始めている。

エ　外部評価

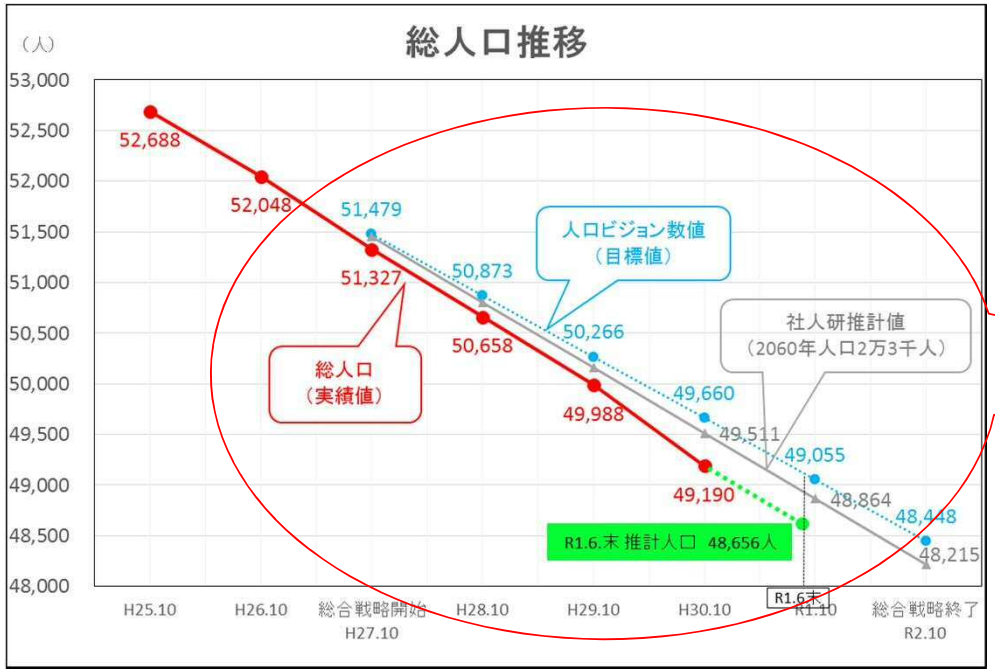
各委員の評価	◎：効果があった　○：少しは効果があった　△：現段階ではまだ判断できない　●：効果が見込めない 各委員の意見

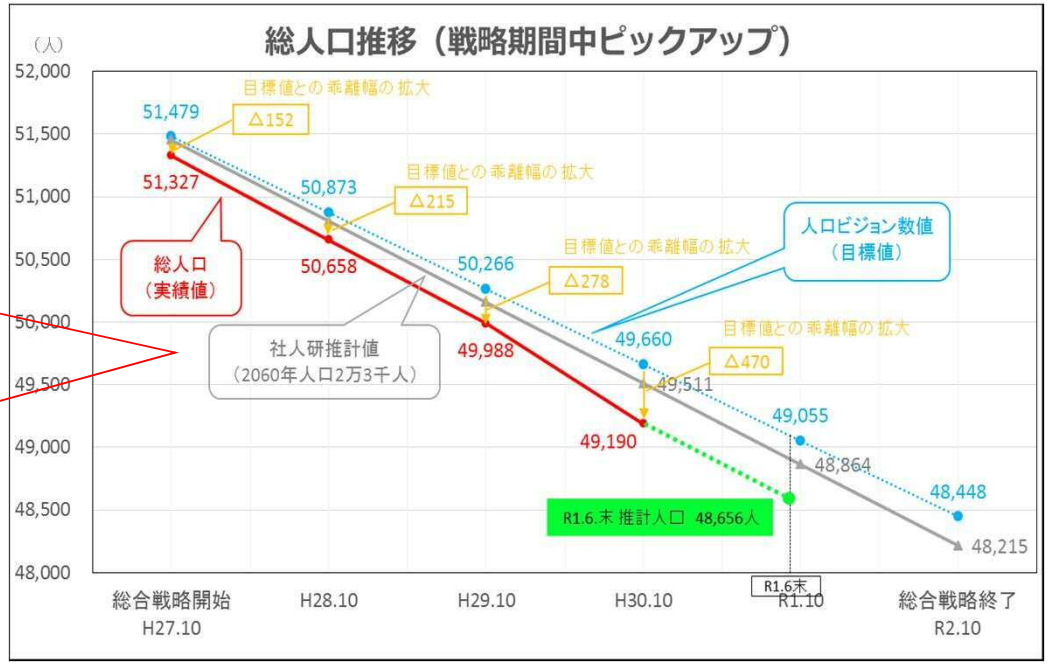
オ　最終評価及び今後の取り組みと改善点

最終評価	今後の取り組みと改善点

南砺市人口ビジョンと人口動態

資料４





● 総人口の状況
R1.6末時点　　推計人口：４８，６５６人

● R1.6末現在の人口移動状況

社会動態

○ 転出者数
転出者数　　：９７５人（前年同時期：９９４人）、前年比：△１９人
年間目標値との差：２１７人（昨年同時期：１９８人）、前年比：＋１９人
⇒　前年同時期に比べ転出者数が少なく、年間目標値を達成できる可能性がある。

○ 転入者数
転入者数　　：８３５人（前年同時期：７０７人）、前年比：＋１２８人
年間目標値との差：２３０人（前年同時期：３５７人）、前年比：△１２７人
⇒　前年同時期に比べ転入者数が多く、年間目標値を達成できる可能性がある。

自然動態

○ 出生者数
出生者数　　：１９８人（前年同時期：２２４人）、前年比：△２６人
年間目標値との差：１２８人（前年同時期：１０４人）、前年比：＋２４人
⇒　前年同時期に比べ出生者数が少なく、年間目標値が達成できない可能性がある。

○ 死亡者数
死亡者数　　：５９２人（前年同時期：６１９人）、前年比：△２７人
人口ビジョン数値との差　：２１３人（前年同時期：１８６人）、前年比：＋２７人
⇒　前年同時期に比べ死亡者数が少なく、人口ビジョン数値を下回る可能性がある。

● 人口ビジョンと実績値のこれまでの進捗管理

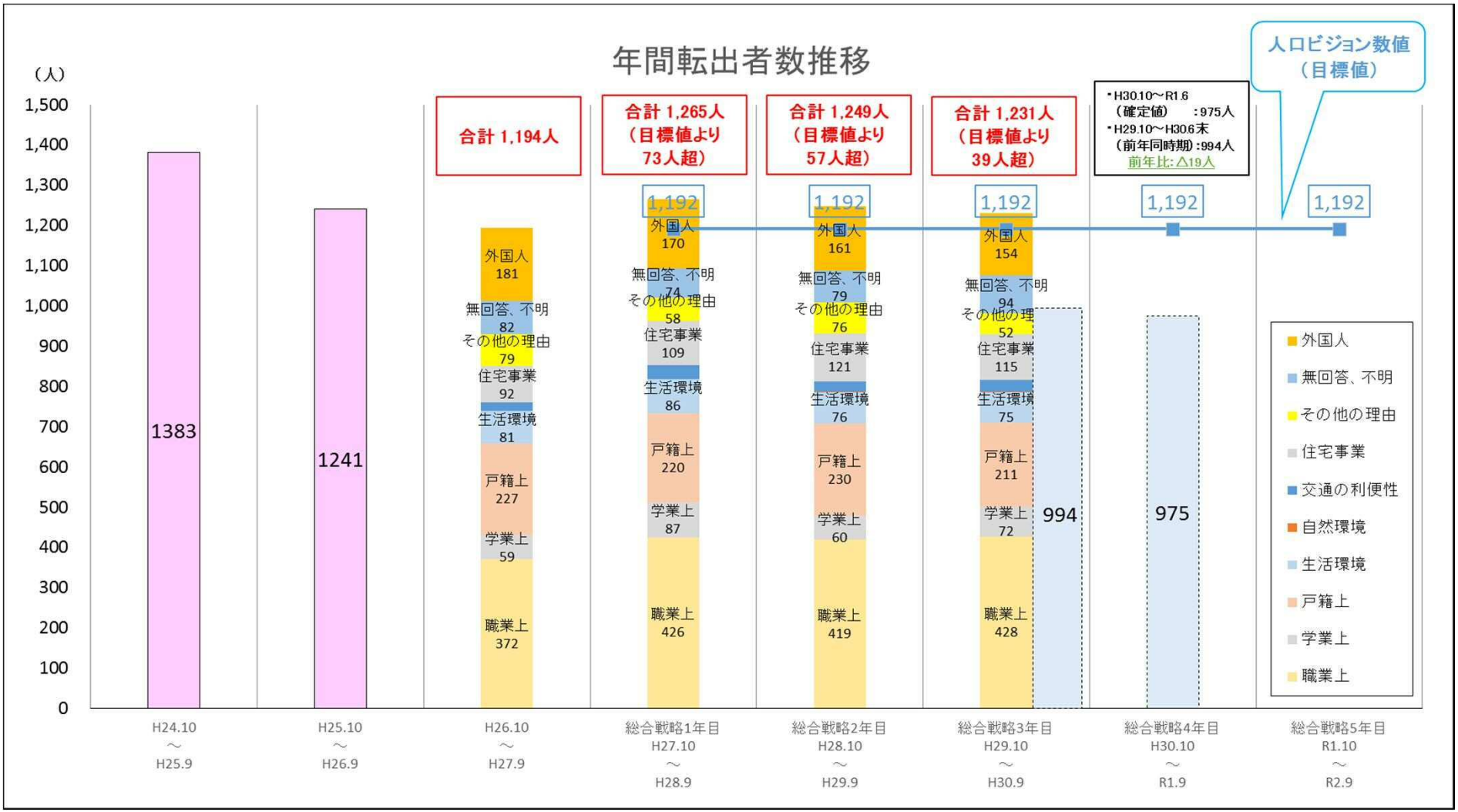
計画開始時（H27.10）
（実績値：51,327人、計画値：51,479人、目標値との差：△152人）
…国勢調査数値確定（H28.10）前に、人口ビジョンを策定（H27.10）したために生じた差異

計画1年目（H27.10～H28.9）
（実績値：50,658人、計画値：50,873人、目標値との差：△215人）
…出生数及び社会動態が目標値を下回ったため、目標値との差が拡大した（△152人→△215人）。

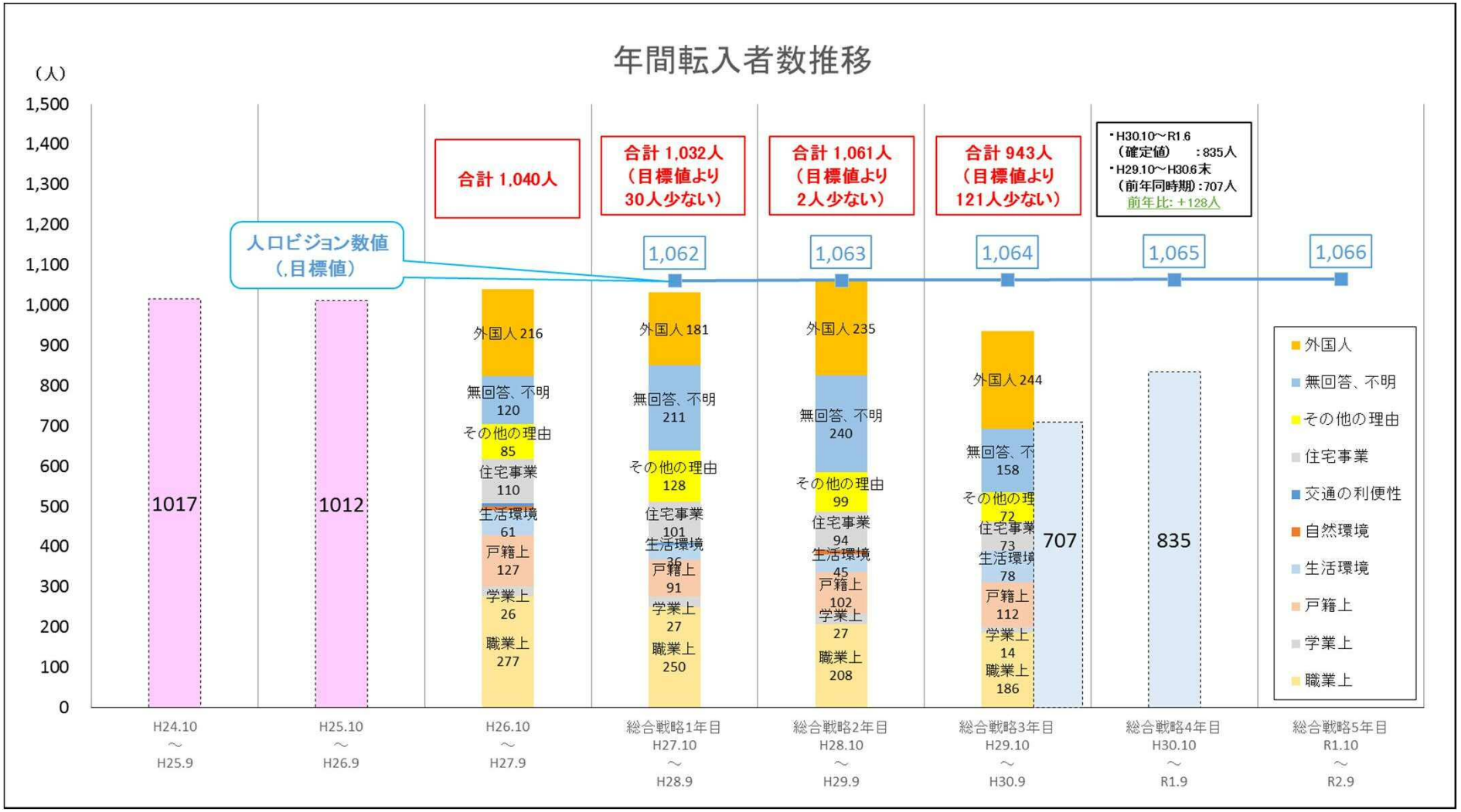
計画2年目（H28.10～H29.9）
（実績値：49,988人、計画値：50,266人、目標値との差：△278人）
…出生数及び社会動態が目標値を下回ったため、目標値との差が拡大した（△215人→△278人）。

計画３年目（H29.10～H30.9）
（実績値：49,190人、計画値：49,660人、目標値との差：△470人）
…出生数及び社会動態が目標値を下回ったため、目標値との差が拡大した（△278人→△470人）。

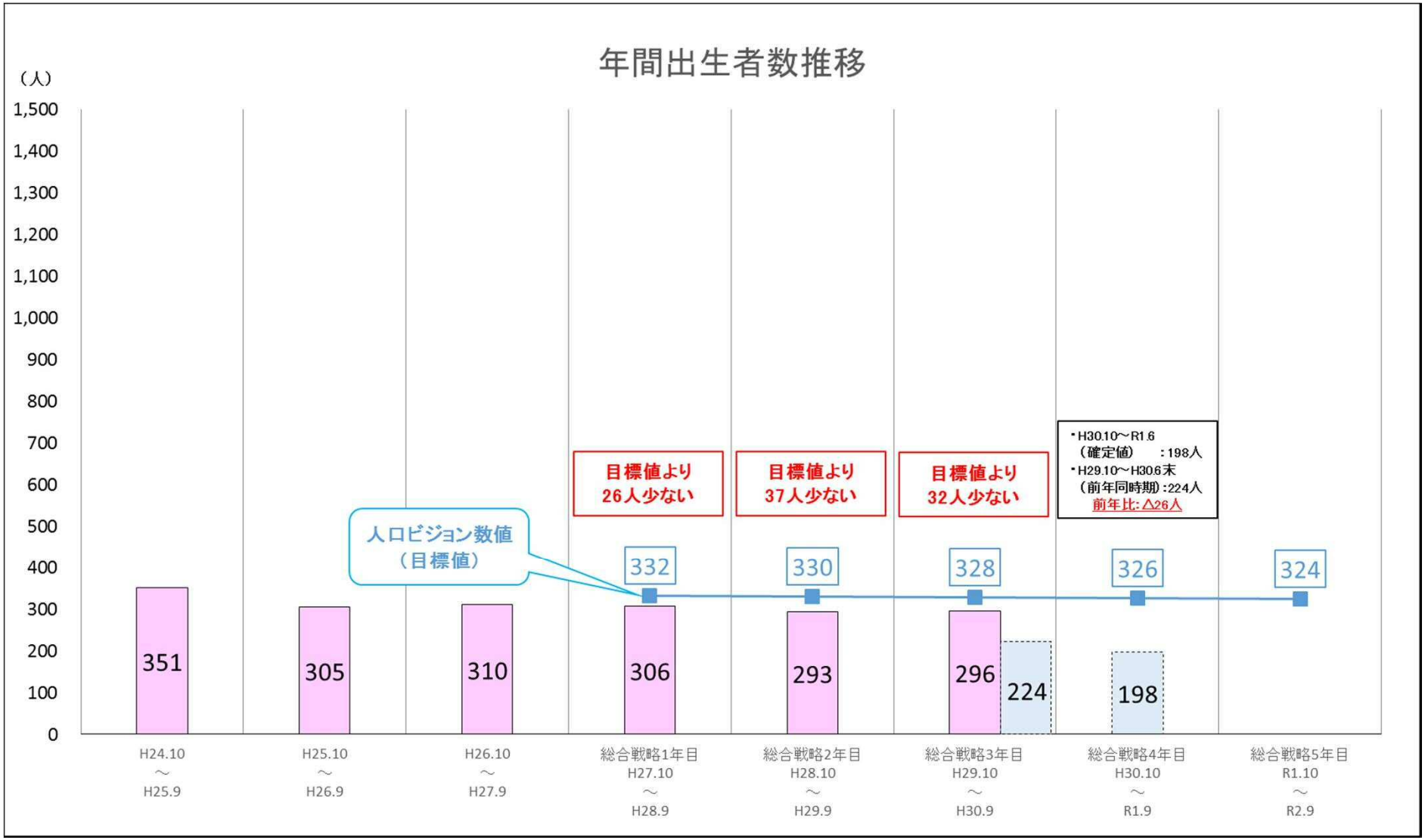
※　総人口の実績値は、推計人口（H27国勢調査の確定値に毎月の人口移動調査の増減を加除したもの）で算定している。



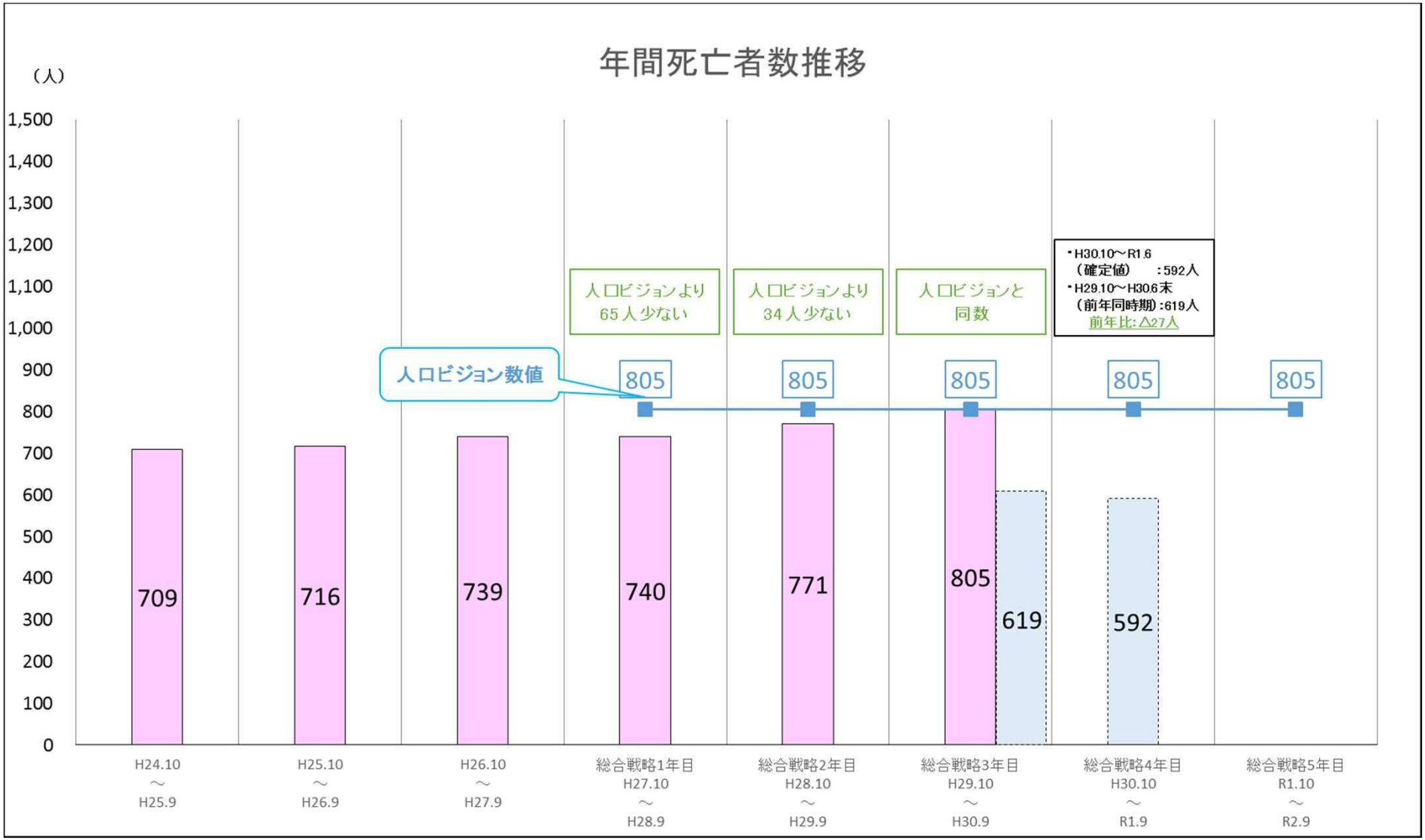
R1.6月末時の転出者数（975人）は、前年同時期（994人）より少なく、目標値を達成できる可能性がある。



R1.6月末時の転入者数（835人）は、前年同時期（707人）より多く、目標値を達成できる可能性がある。



R1.6月末時の出生者数（198人）は、前年同時期（224人）より少なく、目標値を達成できない可能性がある。



R1.6月末時の死亡者数（592人）は、前年同時期（619人）より少なく、前年より年間死亡者数が減少する可能性がある。